

令和5年度 学校評価 第2回まとめ(職員・保護者・児童)

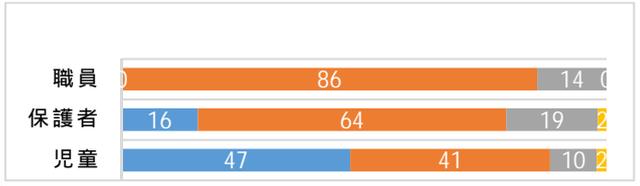
以下、設問に対する数値の単位は%です。数値は概数で示されているため、合計や比較の数値が前後する場合があります。

<設問に対する回答> 4...そう思う 3...まあそう思う 2...あまりそう思わない 1...そう思わない



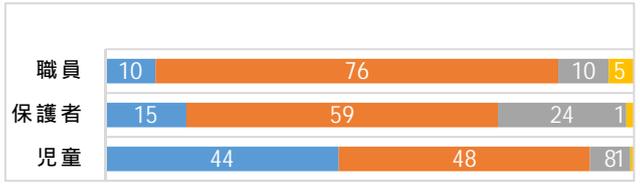
R5 R5 光明小の子供は、「授業が楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問8	4	3	2	1	計
95	86	-10	職員	0	86	14	0	100
79	79	1	保護者	16	64	19	2	100
94	88	-5	児童	47	41	10	2	100



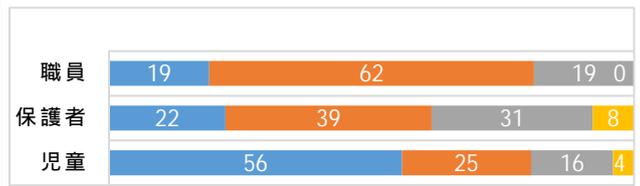
R5 R5 光明小の子供は、人の話をしっかりと聞くことができます。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問9	4	3	2	1	計
71	86	14	職員	10	76	10	5	100
77	74	-2	保護者	15	59	24	1	100
88	92	4	児童	44	48	8	1	100



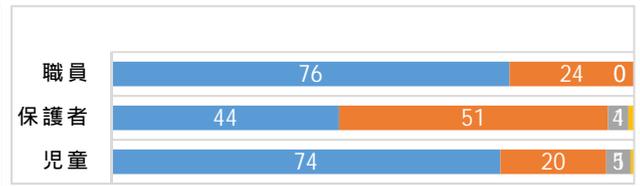
R5 R5 光明小の子供は、「読書が楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問10	4	3	2	1	計
86	81	-5	職員	19	62	19	0	100
67	61	-5	保護者	22	39	31	8	100
85	80	-5	児童	56	25	16	4	100



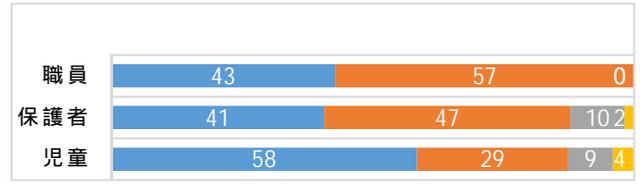
R5 R5 光明小の子供は、「タブレット端末を使った学習が楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問11	4	3	2	1	計
100	100	0	職員	76	24	0	0	100
93	95	2	保護者	44	51	4	1	100
94	95	1	児童	74	20	5	1	100



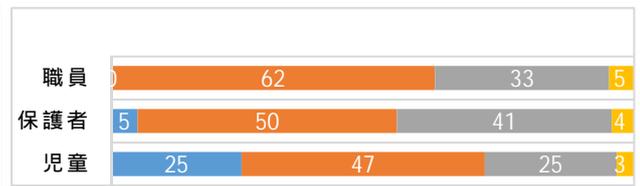
R5 R5 光明小の子供は、「運動することが楽しい」と感じています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問12	4	3	2	1	計
95	100	5	職員	43	57	0	0	100
92	88	-4	保護者	41	47	10	2	100
90	87	-3	児童	58	29	9	4	100



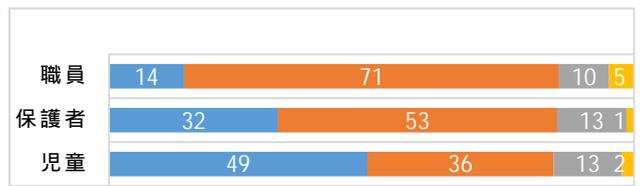
R5 R5 光明小の子供は、宿題や食事を、姿勢よくしています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問13	4	3	2	1	計
57	62	5	職員	0	62	33	5	100
60	55	-5	保護者	5	50	41	4	100
73	71	-2	児童	25	47	25	3	100



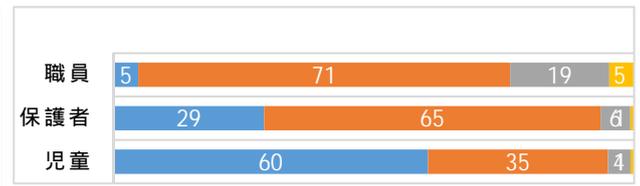
R5 R5 光明小の子供は、「早寝・早起き・朝ごはんを食べる」ができています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問14	4	3	2	1	計
86	86	0	職員	14	71	10	5	100
88	85	-2	保護者	32	53	13	1	100
86	85	-1	児童	49	36	13	2	100



R5 R5 光明小の子供は、身の回りの安全に気を付けて生活しています。

第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	差	設問15	4	3	2	1	計
95	76	-19	職員	5	71	19	5	100
90	94	4	保護者	29	65	6	1	100
93	95	2	児童	60	35	4	1	100



【考 察】

前回（令和5年度第1回）と比べ、全体としてわずかに「肯定的な意見」が減った結果となりました（設問全体の平均【教員±0 保護者-1 児童-1】）。

まず「肯定的な意見」が増えた設問として、「人の話をしっかりと聞くことができます」「勉強や運動に一生懸命取り組み、自分のよいところを増やそうとしています」が挙げられます。

については、本校では、「動と静の切り替え」を合言葉に、話を聞く指導を学校全体として取り組んできました。それぞれの学級で、4月から根気強く指導をしてきた積み上げの結果だと考えています。また、2学期は、行事が多いため学年全体で動くことが多く、より聞く指導に力を入れてきた結果とも捉えられます。

については、学習や行事に力を入れてきた2学期、それぞれに向けて目標をもたせ、子供たちがそれらに向かって一生懸命取り組んだ結果だと思われま。また、の設問以外にも、「『学校が楽しい』と感じています」の項目では、95%以上の児童から肯定的な回答を得られました。引き続き、子供たちが楽しく通える学校づくりを続けていくとともに、肯定的な回答が得られなかった児童へのケアを行っていきます。

逆に、「否定的な意見」が増えた設問として、「光明小の子供は、「読書が楽しい」と感じています」「自分の学級がよい学級になるように、考えたり行動したりします」が挙げられます。

原因を考えると、どちらも行事が多く、時間にゆとりがとれなかったことが挙げられます。行事は、普段できない学びや経験を与えられる一方で、生活にゆとりがなくなるデメリットもあります。行事のもち方を工夫し、バランスよく児童の学びにつなげていけるようにしたいと思います。

また、前回よりも職員の数値と保護者・児童の数値にずれが大きい設問がありました（ ）。保護者・児童の評価を指導改善の参考とさせていただき、子供たちへの声掛けに活かしていきます。

職員の第1回と第2回の肯定意見の割合に大きな差が見られる項目がありますが、調査数の分母が小さいので、大きな差が出やすくなっています。

アンケートでは、数値の回答だけでなく、記述での貴重な御意見もたくさんいただきました。ありがとうございました。今回の評価結果を今後の教育活動に生かし、子供たちがより充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、力を合わせて指導にあたってまいりますので、今後も本校への教育活動での御理解、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

～ の設問の平均

R5		R5		差	
第1回 肯定意見	第2回 肯定意見	第1回 肯定意見	第2回 肯定意見		
86	86	86	86	0	職員
82	81	81	81	-1	保護者
88	87	87	87	-1	児童